



図書館前の平和のモニュメント

請願書・意見書

非核三原則の法制化を求める議会決議・意見書採択に関する請願書

採択

【請願事項】

「非核三原則」の法制化のため、「非核三原則」の法制化を促す決議を採択され、政府及び国会にその意見書を提出するようお願いいたします。

【紹介議員】

朝倉原爆被害者の会
会長 古賀喜代三
副議員 師岡 愛美

同趣旨の意見書を国に提出しました。

日本は世界で唯一の被爆国であること、朝倉市や朝倉市議会が平成20年3月27日に議決した「非核・恒久平和都市宣言」や、市民平和祭などの平和事業を推進していること、その取り組みや考え方が請願趣旨と同じであることから、全員一致により採択となり、

二、保育水準の低下につながる、国の保育所最低基準の廃止、引き下げを行わず、児童福祉法に基づく保育制度を堅持し、拡充を図ること。

育水準の低下、保護者の負担の増加につながる恐れがあると考えられます。「すべての子どもの豊かな成長・発達」のためには、現行制度の充実を含めたさらなる

慎重な議論の必要性を認めり採択となり、同趣旨の意見書を国に提出しました。

「この頃商売は、どげんな『相変わらず暇ばい』『どげんなるちやろかなあ』」

居酒屋のカウンターで挨拶代わりになつた。

本市の21年度決算でも市民税が減収、特に法人税が落ち込んでいる。政府も景気回復のため、積極的に経済対策を行つてはいるが、まだ道半ばである。今こそ、地方独自の創意と工夫をこらした地域政策が重要であり、行政のリーダーシップが求められる時代となつた。

保育制度改革に関する意見書提出を求める請願書

採択

【請願事項】

一、すべての子どもの豊かな成長・発達のために、憲法25条、児童福祉法第2

条の理念に基づき、保育・子育て支援、すべての子どものための施策を拡充すること。

保育制度改革は、いまだ具体化されていません。しかし、待機児童の解消が見込まれているとはいえ、保育水準の低下、保護者の負担の増加につながる恐れがあると考えられます。「すべての子どもの豊かな成長・発達」のためには、現行制度の充実を含めたさらなる

慎重な議論の必要性を認めり採択となり、同趣旨の意見書を国に提出しました。

継続審査

【請願者】

福岡県保育団体連絡会
代表 成富 正敏

【紹介議員】 平田 恰子

慎重に審査するため、環境民生常任委員会からの申し出のとおり、6月定期会に引き続き、継続審査となりました。

以上、国へ「保育制度改革に関する意見書」を提出することを要請いたします。



委員長 田中 哲也
副委員長 村上百合子
委員 草場 重正
委員 柴山 恭子
委員 浅尾 静二
委員 中島 秀樹

